

2017年12月期 決算説明資料



CNC超小型立形研削盤
USG-3

株式会社 太陽工機

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

決算概要

損益計算書(P/L) 来期業績予想・配当予想

2018年度は、2017年度を上回る年間売上80億円を計画
配当は中間・期末の年2回、増配を予定

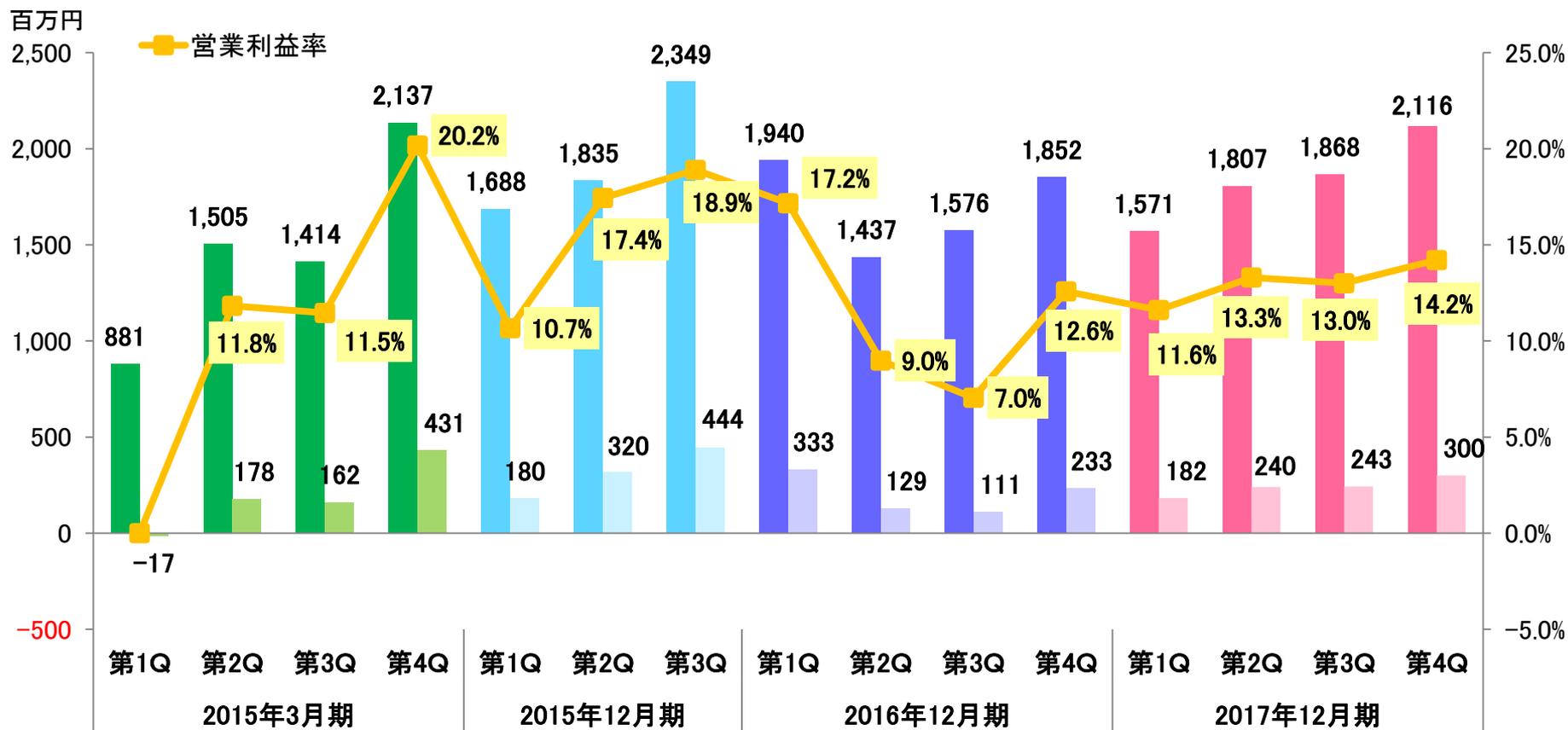
(百万円)	2016年度 通期	2017年度 通期		2018年度 通期	
	実績	実績	対前年比	予想	対前年比
売上高	6,807	7,363	8.2 %増	8,000	8.6 %増
営業利益	806	966	19.9 %増	1,050	8.6 %増
(営業利益率)	(11.8%)	(13.1%)	1.3 point増	(13.1%)	
経常利益	791	956	20.8 %増	1,040	8.7 %増
当期純利益	489	653	33.4 %増	700	7.1 %増
設備投資額	61	75	23.0 %増	200	166.7 %増
減価償却費	122	109	10.7 %減	113	3.7 %増

配当予想

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
2017年度 見込み	—	0円00銭	—	70円00銭	70円00銭
2018年度 計画	—	37円00銭	—	37円00銭	74円00銭

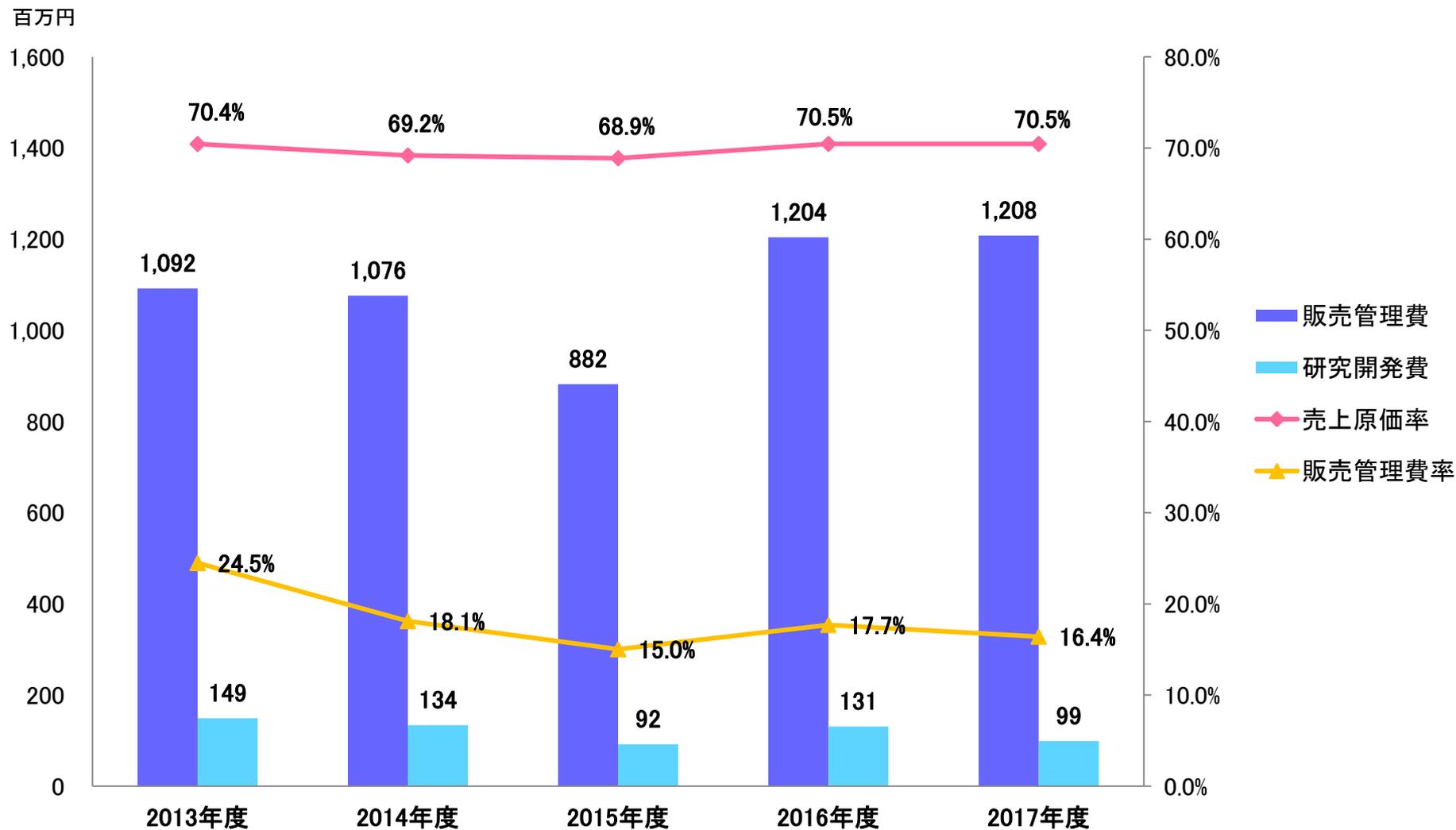
売上高・営業利益(四半期別推移)

売上増加により、順調に利益の積み増しに成功
2018年度は更に一段階上を見込む



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

売上原価率・販売管理费率



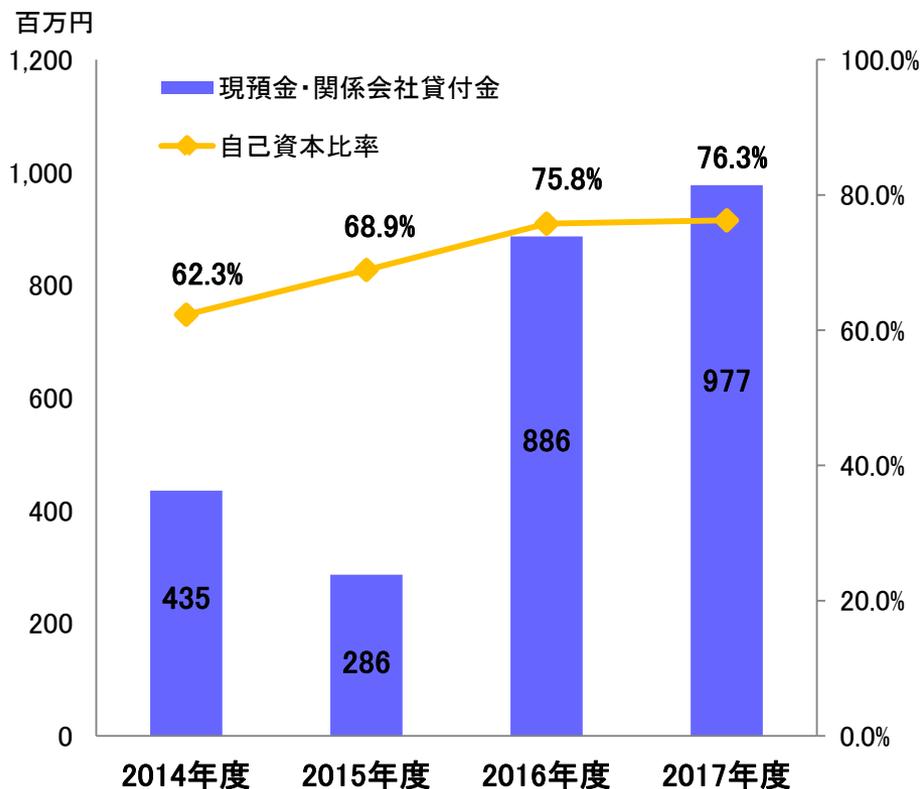
貸借対照表(B/S)

(百万円)	2016年度	2017年度		(百万円)	2016年度	2017年度	
	12月31日	12月31日	増減		12月31日	12月31日	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	3,930	4,655	725	流動負債	668	869	201
現金及び預金	436	477	41	買掛金	214	327	113
売掛金	1,748	1,564	▲ 184	未払法人税等	142	198	56
棚卸資産	1,196	1,994	798	製品保証引当金	38	58	20
関係会社短期貸付金	450	500	50	その他流動負債	273	284	11
繰延税金資産	59	77	18				
その他流動資産	40	41	1				
固定資産	1,207	1,151	▲ 56	固定負債	576	509	▲ 67
建物	597	562	▲ 35	リース債務	547	484	▲ 63
土地	297	297	0	長期未払金	29	24	▲ 5
その他有形固定資産	199	181	▲ 18	純資産	3,892	4,428	536
無形固定資産	32	27	▲ 5	株主資本	3,892	4,428	536
投資その他資産	80	82	2				
資産合計	5,138	5,807	669	負債純資産合計	5,138	5,807	669

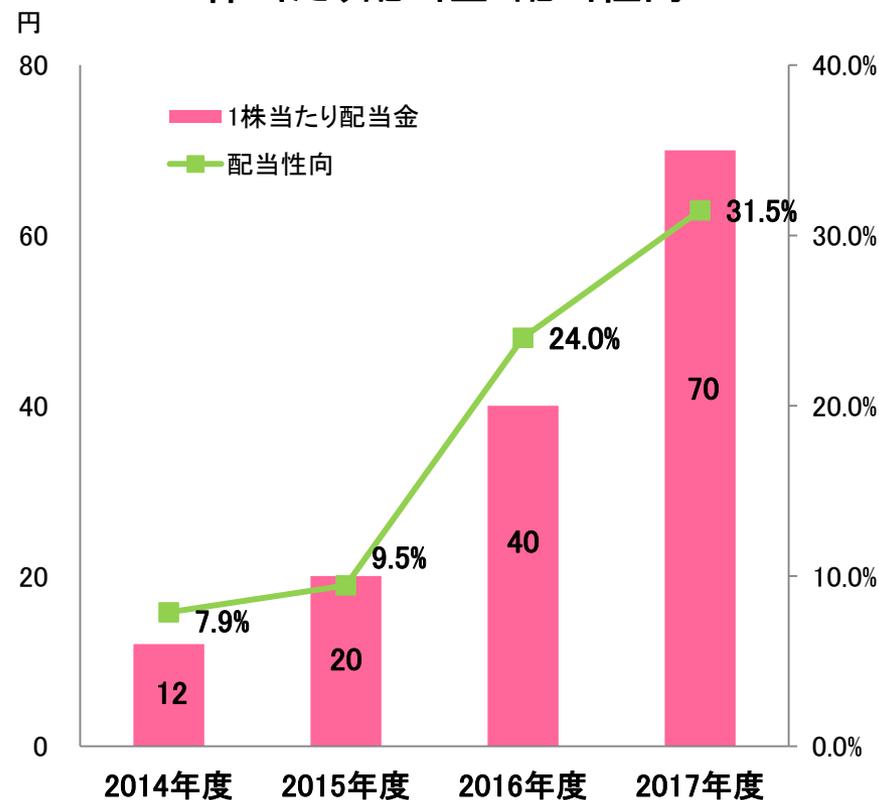
財務体質と株主還元

自己資本比率は76%超となり、財政体質は安定
配当性向は30%を目標とし、配当金での還元を実施

手元資金・自己資本比率

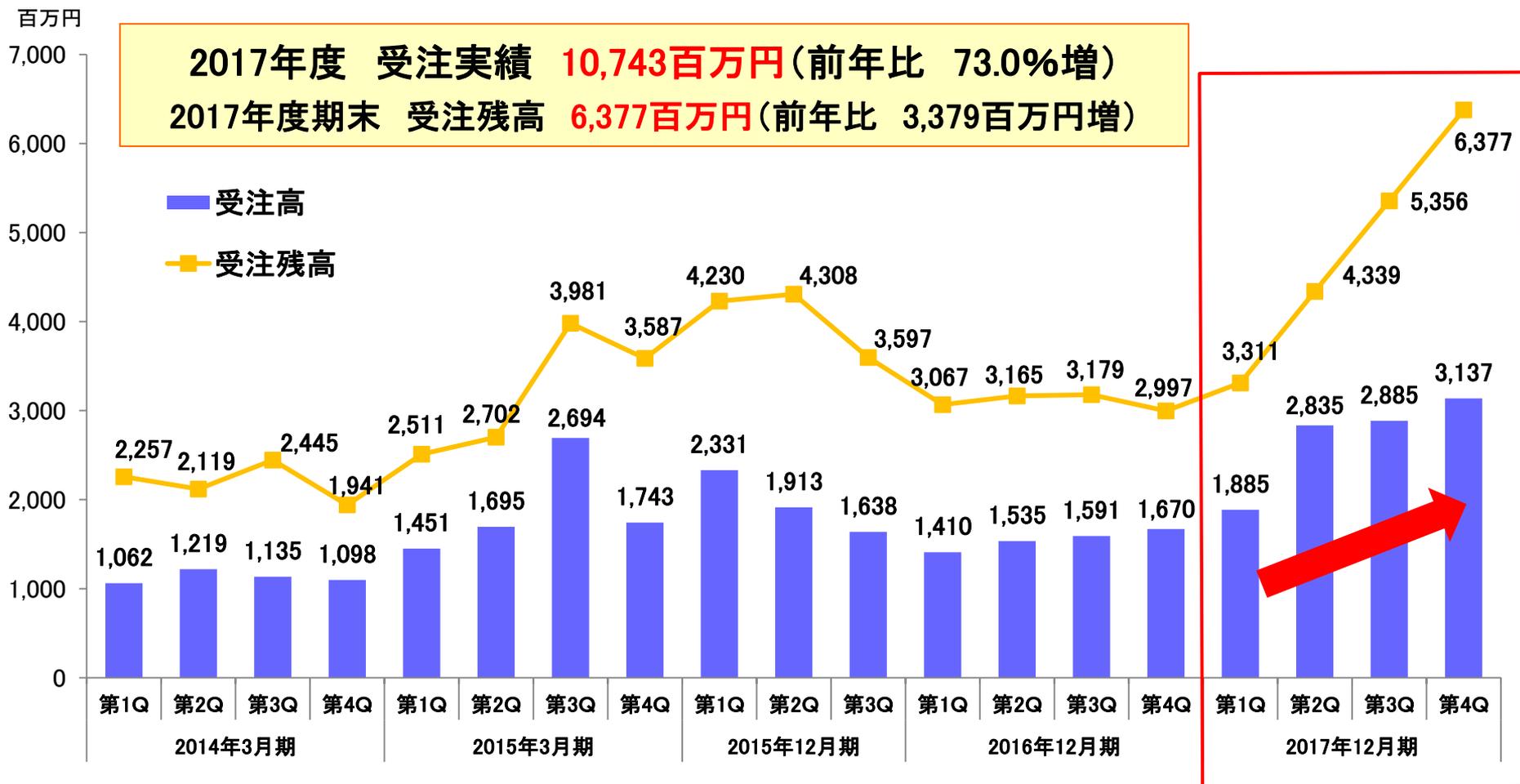


1株当たり配当金・配当性向



受注高・受注残高(四半期別推移)

受注額は設立来初の年間100億円を達成



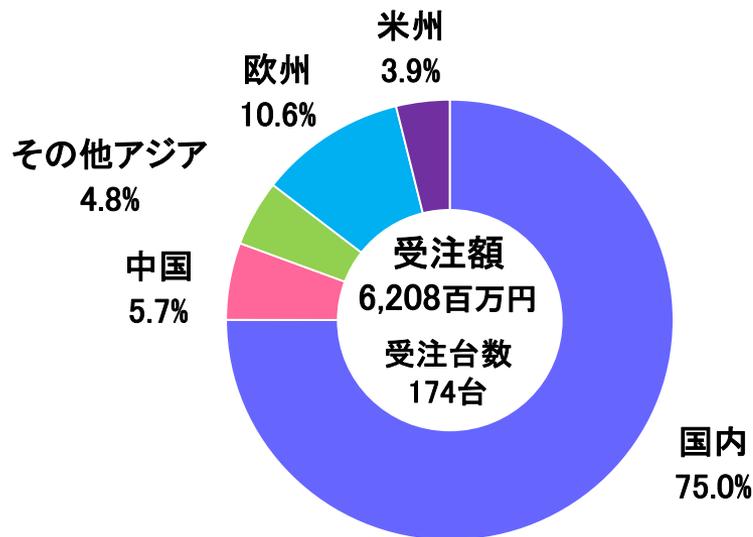
※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

海外受注比率と受注金額(据付地ベース)

海外受注額は10億円増加

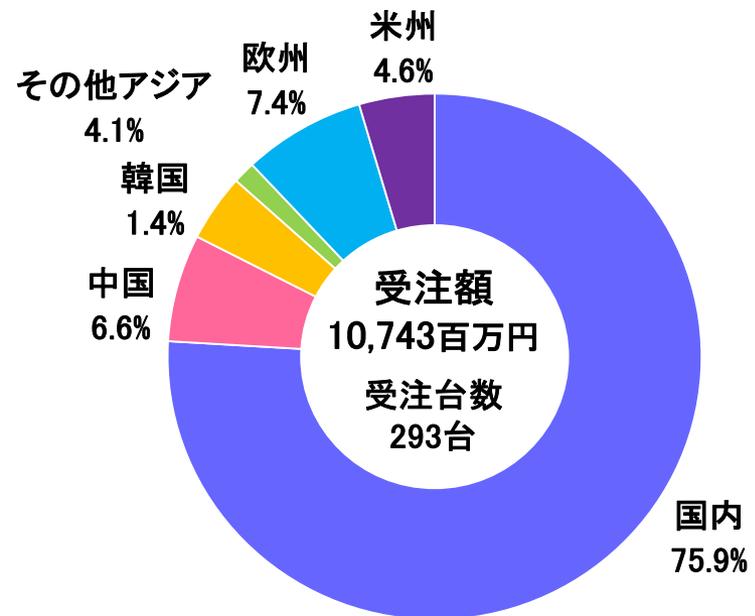
欧州や米州、中国等の幅広い地域から受注を獲得

2016年度 通期



海外25.0%
海外受注金額 1,552百万円

2017年度 通期



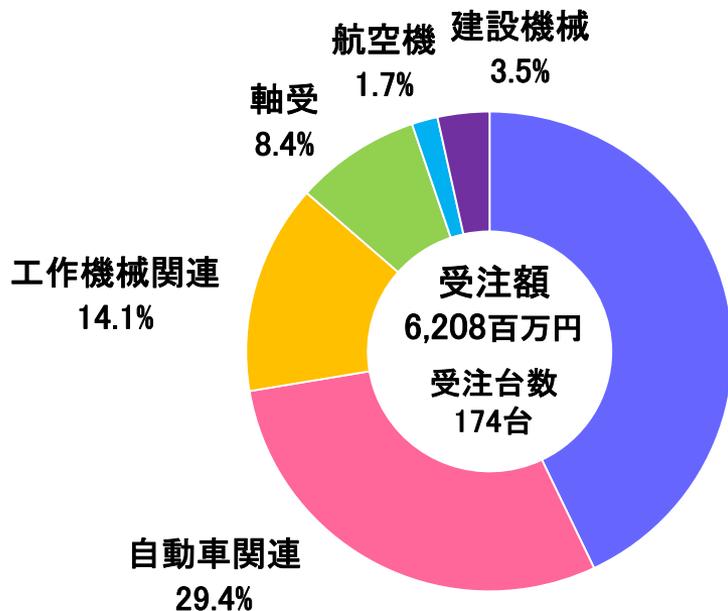
海外24.1%
海外受注金額 2,589百万円

ユーザ業種別受注比率(受注金額ベース)

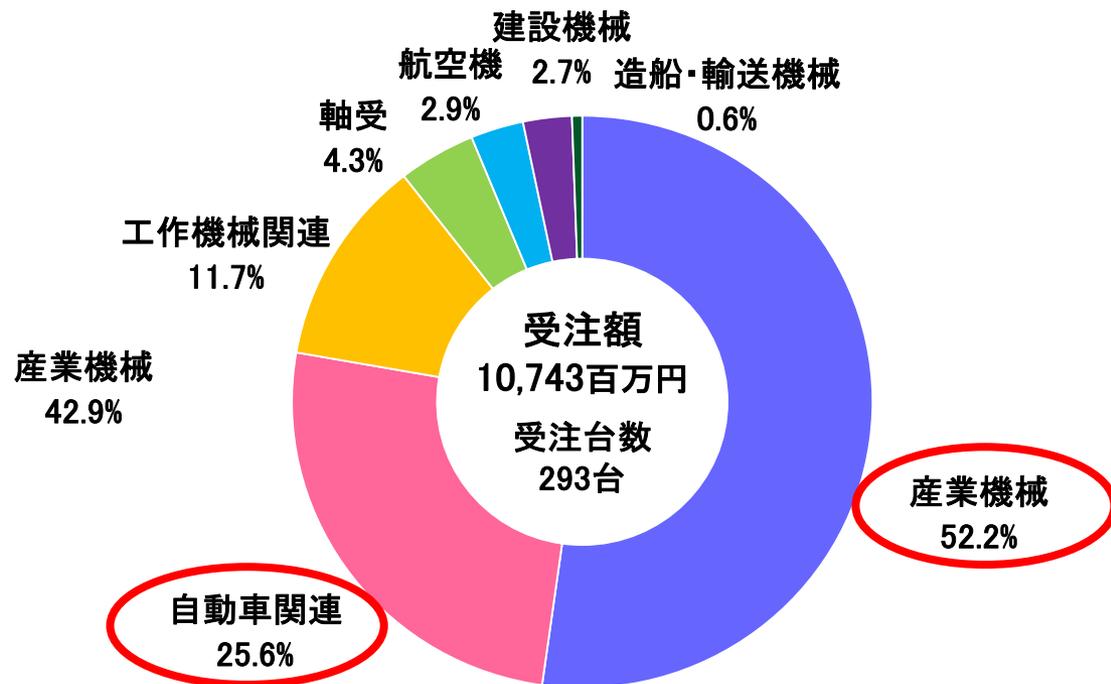
国内の設備投資が活発

産業機械・自動車関連企業から大口・複数台受注を多数獲得

2016年度 通期



2017年度 通期

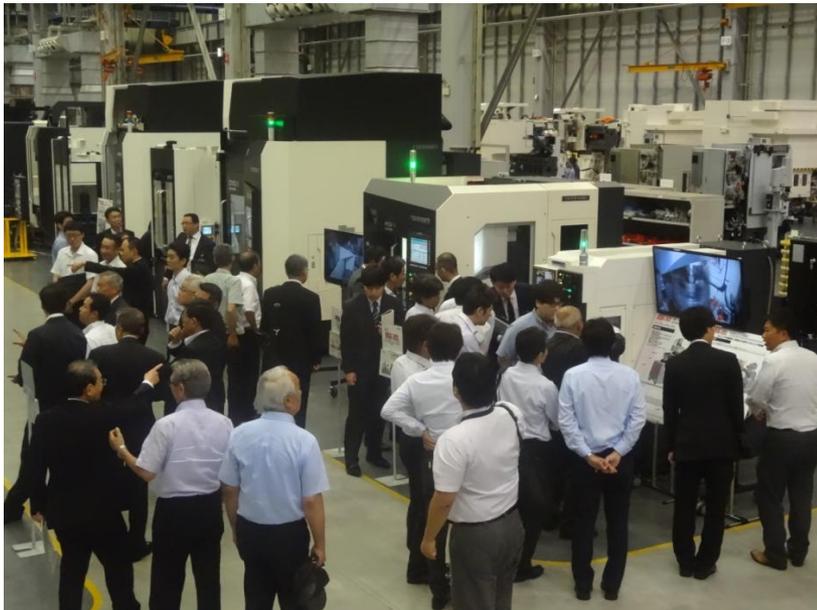


当社の取り組み

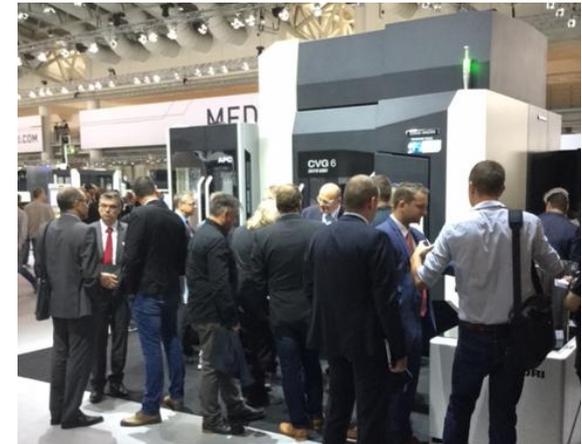
2017年度の展示会出展(実績)

当社プライベートショーを始め、
国内外の主要な展示会へ出展
各展示において多数の受注・引合
を獲得

太陽工機プライベートショー2017
2017/6/22～6/23(太陽工機本社工場)



EMO Hannover 2017
2017/9/18～9/23(ドイツ・ハノーバー)



メカトロテックジャパン 2017
2017/10/18～10/21(ポートメッセ名古屋)



2017年度の新規開発

生産性の向上

フロアスペースの効率化

カム加工の高能率化

CNC超小型立形研削盤
「USG-3」

超小型立形研削盤USGシリーズの第2弾



<ターゲットユーザ>
自動車関連の小型量産部品

<機械間口>
当社従来機比36%削減

CNC立形高速カム研削盤
「USG-2CL」



<ターゲットユーザ>
自動車関連のエンジンカム
コンプレッサ関連部品
油圧関連:ポンプ

<機械間口>
当社従来機比54%削減

2018年度の新規開発(計画)

2014年・2015年開発機

中・大型部品向けの
NVG IIシリーズの次世代機
CVGシリーズ(CVG-6, CVG-9)



加工ワークのサイズに合わせ、
ラインナップを拡充

大型立形複合研削盤 CVG-13

<ターゲット>

航空機、建設機械、風力発電、工作機械等の
中・大型部品向け



営業施策

グローバル営業の強化

- ・駐在員及び現地技術営業スタッフによる技術提案型の営業活動の強化
- ・サービスマン駐在による海外サービス体制の確立
- ・DMG森精機主催の展示会及び現地展示会への出展

米州

＜ターゲット業種＞

航空機、産業機械、
建設機械、ベアリング 関連

欧州

＜ターゲット業種＞

産業機械、航空機、
自動車 関連

アジア

(中国、韓国、台湾、他)

＜ターゲット業種＞

産業機械、建設機械、
自動車 関連

国内市場の掘り起こし

- ・産業機械関連業界、自動車関連業界への新製品の投入、拡販
- ・立形以外の横形研削盤、カムリング研削盤、ネジ研削盤の拡販
- ・リピートユーザの需要掘り起こし

生産体制

①工場スペースの有効活用

②タイムリーな部品調達

③サプライヤーとの関係強化

④人材の確保・育成と社内ノウハウの標準化・習熟



生産能力の増強

月当たり8億円強、年間100億円の生産を目指す

2018年度 展示会出展予定

展示会	開催期間
DMG森精機 Pfronten オープンハウス(ドイツ)	1/30～2/3
(株)東陽 展示会 Premium Fair 2018(刈谷)	3/8～3/9
GrindTec 2018(ドイツ)	3/14～3/17
STF昭栄テクニカルフェア(三条)	5/11～5/12
DMG森精機 Innovation Days(伊賀)	5/22～5/26
太陽工機 プライベートショー 2018(長岡)	7/12～7/13
IMTS 2018(アメリカ)	9/10～9/15
AMB 2018(ドイツ)	9/18～9/22
JIMTOF 2018(日本国際工作機械見本市)(東京)	11/1～11/6
METALEX 2018(タイ)	11/21～11/24

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>